

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
1 日本語指導の必要な児童・生徒の現状と対応について (20分) 近頃、地元の小学校、中学校で、日本語指導が必要な外国にルーツのある児童・生徒を見かけます。先日も、南小学校の授業公開に参加し、各学年の授業を見学させていただいたところ、外国から南小学校に入学された児童の傍らに、NPO法人鶴ヶ島国際友好ふれあい会の方が、ボランティアについて、他の児童とともに、授業を受けていました。 南小学校には、他にも外国語しか話せず、日本語指導が必要な児童が複数いるとのことでした。 日本語とともに案内板等に表示されることが多い英語等の馴染みのある外国語ではなく、あまり馴染みの少ない母国語の外国語しかできない児童も、今後増加していくことが予想されます。 こうしたことから、本市における日本語指導の必要な児童・生徒の現状と必要とされる対応について、以下、質問いたします。 (1) 市内小中学校における日本語指導の必要な児童・生徒の現状について (2) 言語ボランティア団体との連携の状況について (3) これからも増加するであろう日本語指導の必要な児童・生徒への必要な対応について	市 長 教育委員会教育長
2 都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備に伴う藤金地区の雨水排水対策について (20分) 藤金地区大谷川周辺、特に藤小学校、藤中学校周辺においては、台風や記録的短時間大雨などに際して、本年度だけで、既に3回の床下浸水などの被害が出ております。 現在、坂戸、鶴ヶ島下水道組合による大谷川雨水幹線整備事業が進められている状況にあるものの、整備により効果的な機能を発揮するに至るまでは、まだまだ複数年かかる見込みで、それまでの間の対策について、早急に検討していかなければならない状況にある	市 長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
と思われます。 そうした中で、溢水による被害が出ている藤小学校周辺に、現在都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備が進められております。この都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備は、大谷川雨水幹線事業より早く整備が完了することから、都市計画道路における雨水排水について、大谷川への排水の流入による水害対策を考えた上で、整備していく必要があります。 こうした状況を踏まえて、都市計画道路整備に伴う雨水排水対策について、以下、質問いたします。 (1) 当該地区におけるこれまでの水害対策について (2) 都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備についての地元説明会の状況について (3) 都市計画道路共栄鶴ヶ丘線の整備に伴う雨水排水対策について 3 ガーデンパークの今後の発展的展開について (20分) 6月9日に、ガーデンパークの開園とともに、開催された Railway Park フェスティバル。当日は大盛況になり、本市の新たな誘客、交流人口の増加に向けて、大きな期待が持たれました。 しかしながら、その後は、何らかのイベントなり、軽便鉄道が走るなりといったこともなく、現状においては、数人が鶴ヶ丘児童公園や周辺を散策する程度になっています。 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり整備計画において、ガーデンパークの活用と新たな交流拠点の整備により、「歩きたくなる くつろぎとにぎわいのまち」として、その集客効果が、整備計画を進めていく中で、最初に結果が出てくるものと考えておりました。 私も、これまで「歩くをキーワードにした施策の連携について」や「人の集まる都市公園の賑わいのある活用について」などウォーカブルをベースにした施策の展開の重要性について、一般質問してきましたが、まさに集客効果が期待できるガーデンパークの活用	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
は、こうした施策の展開に起爆剂的な効果を発揮し、継続的に行なうことで、誘客、交流人口を促し、定着化していくものと考えられます。 行政主体による取組だけでなく、地域住民や各種団体等による市民が主体的に取組むものを含めて、ガーデンパークの発展的な展開、活用を継続的に図っていくべきではないでしょうか。 こうした観点から、以下質問いたします。 （１）ガーデンパークの現状について （２）軽便鉄道の今後の活用について （３）地域住民や各種団体等による市民主体のガーデンパークの活用について （４）ガーデンパークの今後の発展的展開について	